



つづく つながる 夢を育てる学び舎  
**国立二小だより**

令和5年(2023年)5月31日

国立市立国立第二小学校

校長 内田 辰彦

## 教育目標の具現化～ふわふわ言葉の取組～

副校長 柳澤 謙

二小の教育目標は、「つよく かしこく あたたかく」です。今年度は「あたたかく」を重点目標にしています。これらの目標の具現化に向け、全教職員一丸となり毎年取り組んでいますが、その中に、相手の気持ちを考えた「ふわふわ言葉」の取組があります。以下に、それに関連した今年度の児童の様子についてお伝えします。

ある学級での算数の時間のこと。友達が間違えた答えを発表した際に、「間違えても正直がいいよ。大丈夫だよ。」と言う子がいました。それを聞いて発表した友達は笑顔になりました。全体の雰囲気もととてもよく、励ましの声をかけ合う場面が他にいくつもありました。

ある学級での道徳の時間のこと。最後の振り返りの時間に、「これまであまり仲良くできなかった友達がいましたが、思い切って『いっしょに遊ぼう』と声をかけたら、仲良くできるようになりました。」と発表する子がいました。友達にも勇気を与えるような発表に感銘を受けました。

ある学級での社会の時間のこと。友達が意見を発表した後に、教室中に大きな拍手が響き渡り、「いいね。」「そうだよね。」など、友達の考えを受け入れる場面が何度も見られました。その後も様々な発表が続き、あたたかい雰囲気の中で授業が行われていました。

最後に紹介する場面は、ある授業での振り返りのことです。ペア学習で一緒に学んだ友達に「こんなに優しい仲間がいて、二小がもっと好きになりました。」「この時間を大切にしたいです。」と言った子がいました。授業中でも友達を思いやる優しい気持ちとそれ対しての感謝を伝えるまっすぐな気持ちに心があたたかくなりました。

また、高学年による全校向けの取組もあります。昨年度は、ふわふわ言葉を使ってゲーム集会を企画・運営したり、ふわふわ言葉をテーマにしたドラマを児童が中心となって制作したりして、全校にふわふわ言葉の大切さを呼びかけました。二小のリーダーたちが伝えるだけあって、他学年の児童たちの意識もかなり高まりました。今や二小では、学校全体の合言葉にもなっていると言ってもいいくらいです。

さらに、昨年度の学校評議員会でも、ふわふわ言葉が話題となりました。「家庭でふわふわ言葉を使ってみたら、雰囲気が明るくなりました。」「ぜひ、やってみてください!」などの声も寄せられました。

二小では今年度もこの取組を進めていきます。そして、二小の伝統の一つでもある「あたたかい雰囲気」を永く永くつなげていきたいと思えます。

### ふわふわことば の れい (みんながわかる ように ひらがなに しています)

- ◎だいじょうぶ? ◎てつだおうか? ◎てをかすよ ◎えんりよしないで ◎うれしいなあ
- ◎ありがとう ◎ほんとにたすかったよ ◎やさしいなあ ◎じぶんではきがつかなかったよ
- ◎さっきはごめんね ◎さっきはありがとう ◎きがつかなくてごめん ◎きにしてないよ
- ◎もう、だいじょうぶだよ ◎また、いつでもいってね ◎いっしょにやろうよ
- ◎～がじょうずだね ◎～がすてきだったよ ◎あなたのおかげで、きもちがらくになっただよ